

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日
平成 31 年 4 月 15 日

事務事業名		街並み案内ボランティア事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	020503000909
		政策体系上の位置付け				単独/補助	単独	所属課	090601
政策体系	総合計画の施策名	0205 文化財の保存・活用				主要事業		生涯学習課	
	政策名	02 生きがいを育む学びのまちづくり				市長マニフェスト			
	施策名	05 文化財の保存・活用				未来PJ事業		グループ 文化財G	
	手段名	03 ③文化財ボランティアの育成・推進				合併建設計画事業			
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	10	06	04	01	00	文化財保護事業		
						単年度繰返し (平成17年度~)			
法令根拠						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

手 段	① 事務事業の概要 (事務事業の全体像)		② 担当者が行う業務の内容・やり方・手順		
	街並み案内ボランティアは、真壁を訪れる方に、登録文化財を中心とした街並み案内をするボランティア団体である。 街並み案内ボランティアは市が民間から募集し、運営しているため、市が講師派遣等の支援、他ボランティアとの交流の支援を行っている。 また、経費については、ボランティアを実施する際の交通費相当額を支給している。 真壁のひなまつり期間中等、申し込みが多いときは、真壁伝承館に常駐し、案内を実施している。		・講師派遣等支援 ・他団体等との交流会の支援 ・交通費相当支給事務		

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

① 手段 (担当者の活動内容)	④ 活動指標 (活動量を表す指標)	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・講師派遣等支援 ・他団体等との交流会の支援 ・交通費相当支給事務	活動回数	回	33.00	44.00	45.00	45.00	45.00
	HP等情報提供	ページ	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度
街並み案内ボランティア会員	団体構成員数	人	12.00	13.00	13.00	13.00	13.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③ 意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度
ボランティア活動の活性化を図り、街並みを案内できる	案内人数	人	1,831.00	1,151.00	1,900.00	1,900.00	19,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (計画)	期間限定総投入量
入	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	使用料・手数料	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	85	85	85	0
	事業費計 (A)	85	85	85	0
量	正規職員従事人数	2.00人	2.00人	2.00人	

事業費の内訳	30年度事業費 実績 (千円)			01年度事業費 予算 (千円)		
	08 報償費	85		08 報償費	85	
	合計	85		合計	85	

(4) 当該年度の実施内容	01年度の事業内容	02年度の事業内容	03年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業			

事務事業名	街並み案内ボランティア事業	事務事業No.	20503000909	所属課	生涯学習課
-------	---------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平成11年度登録文化財制度導入以後、急増する文化財見学者に対し、文化財の説明をする人材育成のため結成。また来訪者にも高い評価を得ている。 まちづくり活動については存在価値があり、県外からも大きな期待が寄せられている。行政主導型で設立したが、今後自主活動に努めており、自主団体を目指している。現在会員が高齢化しており、活動が鈍りがちな状況であるため、新規加入者の促進に努めなければならない。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 講師派遣等の支援、報償費支払い等は今後も継続が求められている。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 活動が十分に行える体制。街に詳しい会員を増やす。
改革改善を行う

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 地域まちづくり活動において存在価値を認められ期待を受けている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 地域まちづくりは公共性が高く、活動が十分に行えるよう施策を行うことが公共団体の責務と考える。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 自立支援を行っている上で、会員数を増やすことにより向上の余地がある。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 支援を断ち切った場合、現在育成段階なので存続させることが難しい。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業なし。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費については自主財源が増えれば減額の余地はあるが、育成段階なので当然削減の余地はない。人件費についても、これ以上の減額は事業運営に差し支える。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である まちづくり活動は市民全体が受益を共用するものであり、受益者負担の観点からも公平に行われている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 伝統的建造物群保存地区指定後、案内を希望する来訪者が増える中、ひなまつり開催期間中の案内は適当であるかを考える余地がある。 (ひなまつりは経済部商工観光課の所管)
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) コスト削減 維持 増加 成果向上 維持 低下
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 ボランティアの高齢化のため、若い人材を集める。	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ⑧ コスト削減優先度評価結果

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
--	--